

日本大学工学部 出村学部長 特別講義

本学園の理事でもある日大工学部の出村克宣学部長による特別講義が12月11日（金）に行われました。内容は、工学部紹介、大学での教育について、そして模擬実験でした。

総合進学科特理コースの1年生と2年生全員が講義を受けました。

先生は、建築学、特に建築材料のコンクリート工学がご専門です。講義の主な内容は、次のような事でした。

【講義要旨】

- ・ 今年創立120周年。卒業生は1,010,202名。日大OBのネットワークは、社会で仕事をして行く上で大きな力となる。
- ・ 日大工学部はLOHAS（地球にやさしい生き方）をテーマに研究・教育・実践を行っている。
- ・ 「工学」とは、「こんなことをしたい・こんな物を造りたい」ということを研究し、学ぶ所である。その根底に、科学（自然界の心理の探求）、そして理学（どうしてそうなるのか：数学・物理・化学・天文学 etc.）があり、今高校で学んでいる力が必要である。
- ・ 日大工学部には、スペースシャトルのロボットアームの開発をしている先生や、テレビの「世界で一番受けたい授業」に出演した先生、医学に役立つ研究をしている先生等、優秀な先生がたくさんいる。
- ・ 工学部の敷地は東京ドーム8個分もあり、設備・環境が恵まれている。
- ・ アパートや下宿代が都会と比べて安く、生活費がかからない。（工学部は福島県郡山市）
- ・ 就職指導に力を入れており、携帯やPCに情報を配信している。640社を招いての就職相談会も実施している。
- ・ 入学の決まった生徒には、DVDで入学まで数学・物理・化学・国語などの基礎力アップの授業を受けてもらい、レポート提出をさせ、採点して返している。
- ・ 入学後も、25人に1名の助言教員をつけたり、数学等、力にあわせた段階的指導を行ったり、きめ細かい指導をしている。

講義の後、泥水が一瞬にして澄む「イオン交換」の実験を生徒に体験させ、生徒は驚いていました。先生のユーモアにあふれた講義、説明、実験に生徒達は工学に対する興味を深めることができました。日本大学の付属だからこそ受けられる、貴重な講義でした。



パワーポイントを使っでの講義



イオン交換の実験



実験の解説